



総合広告代理店（株）宣通と協定締結 県内初、屋外型広告付き AED の設置

4月17日市役所で、(株)宣通様との広告付き AED 無償設置事業に関する協定締結式が行われました。これは、広告を募集し、広告料により AED の設置や維持管理を行うもので、AED は市役所本庁舎南玄関と文化スポーツ複合施設屋外に 1 基ずつ設置されます。屋外への設置は県内初で、森島市長は「公共施設の救命体制充実と、市民の安心・安全の確保につなげていきたい」と話しました。



▲（左から）印南副市長、森島市長、(株)宣通 津田代表取締役、喜多本部長、日本光電工業(株)望田さん

災害時の車両確保へ （一社）県レンタカー協会と協定締結

4月17日市役所で、(一社)県レンタカー協会様との災害時における車両の提供に関する協定締結式が行われました。これは、災害発生時に帰宅困難者の輸送をはじめ、物資の配送や非常用電源として活用する車両を提供いただくものです。森島市長は「東日本大震災の際、帰宅困難者のための車両確保が難しかった。災害時のライフラインの1つとして、今後も連携を強化していきたい」と話しました。



▲（左から）森島市長、(一社)県レンタカー協会 青木会長

祝・春の叙勲受章

4月29日発令の令和8年春の叙勲において、受章された皆さんをご紹介します。これは、長年にわたり各分野で積み重ねてこられた功績が認められたものです。これまでのご尽力に敬意を表するとともに、心よりお祝い申し上げます。



瑞宝小綬章【検察官】

荒井 公男さん
(上伊佐野)

平成5年から検察官として
従事され、宇都宮区検察庁副
検事などを歴任されました。



瑞宝単光章【統計調査】

津久井 信一さん
(上伊佐野)

昭和45年から農林業セン
サス調査員として、統計調査
業務全般に従事されました。

（株）HEAVEN Japan と全国初の協定締結 女性に配慮した防災体制へ

5月15日市役所で、(株)HEAVEN Japan 様との災害時における生活物資等の調達及び供給に関する協定締結式が行われました。これは、災害発生時に防災用女性下着を提供いただくもので、全国初の試みとなります。森島市長は「大規模災害時、特に女性にはプライバシーや衛生面などの配慮が必要となる。今後も支援を強化し、安心して暮らせるまちづくりに取り組みたい」と話しました。



▲（左から）森島市長、(株)HEAVEN Japan 梅井 PR グループ長、印南副市長



持続可能なまちづくりを願い植樹 やいたつつじ祭りが7年ぶりの開催

5月9日長峰公園で、やいたつつじ祭りが開催されました。公園のナイター照明が試行的に通年点灯となったことを受け、ライトアップを楽しめる夕方から開催された本イベントでは、ツツジが咲く美しい景観を未来へ残そうと、記念植樹などが行われました。会場にはキッチンカーやテントが並んだほか、園内の自然を満喫できるスタンプラリーや、話題のニュースポーツ「棍棒飛ばし」体験などが実施され、多くの来場者でにぎわいました。参加者は「天気もよく、外遊びを存分に楽しめた」と話しました。



▲ツツジの植樹を行う森島市長と観光協会 櫻井会長



▲園内に設置されたスタンプラリーの様子



▲豪華景品が当たるガラポンには行列も



▲ニュースポーツ「棍棒飛ばし」体験

3年連続受賞！「広報やいた」 全国広報コンクール広報紙部門、入選（全国5位）

各都道府県の審査会などを通過した代表作61点を対象に審査が行われた令和8年全国広報コンクール広報紙部門市部において、広報やいた2025年12月号が入選しました。一昨年の初入選、昨年の総務大臣賞受賞に続き、今年で3年連続の受賞となります。この結果は毎月の取材に対し、すてきな笑顔を向けてくれる地域の皆さんのご協力があってこそ。皆さんと共に作る広報紙が高い評価をいただけたこと、とてもうれしく思います。引き続き、市民の皆さんに愛される広報紙を目指し、地域の声や想いを伝え、市民と行政をつなぎ続ける存在でありたいと思っています。これからもよろしくお願いたします。



広報やいた 12月号

特集「TAKIBI ここから始まる、それぞれのストーリー」



▶作品紹介や講評など、詳しくはこちら



▲ふるさと支援センター TAKIBI の皆さんに、全国入選を報告

山頂で結ばれた絆。矢板市・塩谷町・日光市・那須塩原市による「高原山頂サミット」開催

5月10日高原山開きが行われ、参加者約120人が矢板市・塩谷町・日光市の3つの登山口から、釈迦ヶ岳山頂（標高1,795m）を目指して登山しました。山頂でのサミットでは「高原山宣言」がなされ、山麓の保全・再生活動を展開し続けていくことを誓いました。その後参加者は各市町の御神酒を堪能。「雲ひとつない青空の下、気持ちよく登山することができた。まち並みを一望しながら至福のひとつときを過ごせた」と話しました。



地域交流の輪広がる スーパーキックベースボール大会2026開催

5月17日運動公園サッカー場で、スーパーキックベースボール大会2026が開催され、市内の小中学生を中心とする44名が参加し、白熱した試合が繰り広げられました。会場ではニュースポーツ体験も行われ、子どもから大人まで楽しめる場となりました。参加者は「チーム一丸となって試合ができてよかった。来年も参加したい」と話しました。



体験を通して地域の魅力を再発見！ YADバスツアーで広がる学生の輪

5月17日、市内の地域資源をめぐる「YADバスツアー」が開催されました。このツアーは、高校生団体YADが企画したもので、他の学生団体との交流や地域理解の促進を目的に実施されたものです。参加者は58人。バスツアーでの施設見学やいちご狩り、昼食を楽しんだほか、寺山観音寺では写経や瞑想を体験しました。参加者は「普段できないような、さまざまな体験を通して他団体と深く交流することができた」と笑顔で話しました。

